

オレンジカフェ富岡

阿南

ぶらりまち紀行

ふるさと阿南市のすばらしい魅力を再発見！

～地域の輝き～

第121回



オレンジカフェ富岡



認知症の人と家族の会による講座や玉すだれ、琴の音色で参加者をおもてなし

認知症の方が、住み慣れた地域で自分らしい生活を送り続ける。このような社会を実現しようと、オレンジカフェが、全国的に広がりを見せている。認知症の方やその家族、地域住民や専門職など誰もが参加でき、互いを理解することで、介護者の負担軽減など、さまざまな効果が期待される。阿南東部高齢者お世話センターは、今年2月に「オレンジカフェ富岡」を開設し、活動に力を入れている。

きっかけは、ある一人暮らしの高齢者からの「地域住民が集う場がほしい」という声。認知症について理解を深める場として同時に機能するよう「オレンジカフェ」に目を付けた。お茶を飲みながらゆったりと交流してもらおうほか、認知症に関する講座や富岡婦人会による南京玉すだれ、琴クラブの演奏、富岡健康まつりと同時開催など、毎回多彩な催しで参加者を迎える。リーダーも多く、「昔は縁側でよく話したけど、最近は気軽に話せる場が少ないので、オレンジカフェは数少ない交流の場です」、「毎回、近所の人を誘って参加しています」と好評だ。

同センターの保健師兼認知症地域支援推進員の細野直美さん（46歳）は、「参加者が『次はいつで』と尋ねてくれるのがうれ



婦人会が作った大学芋を食べながら一息



脳トレーニングのパズルに挑戦

しいです。無事開催できるのは、企画段階から全面的に協力してくださる富岡公民館の山本館長をはじめ、富岡婦人会やいきいきサロンなどボランティアの皆さんのおかげです。今後、オレンジカフェの必要性が高まり、住民が主体となつて開催していくことができると思います」と話す。

阿南市では、認知症の方を早期から支援するため、本年度から「認知症初期集中支援チーム」を設置するなど対策を急いでいる。オレンジカフェの取組が、行政や専門機関などに結びつき、認知症の方を含むすべての住民がいきいきと暮らす社会へとつながってほしいと願う。

今回は、8月24日に開催される。おいしいお茶を飲みながら、楽しい時間を過ごしてみませんか。

オレンジカフェ富岡

今回は、琴と茶道です。「こどもお琴教室」の生徒が爪弾くすばらしい琴の音色を聴きながら、「こども茶道教室」がたてたお茶と和菓子を味わいませんか。

日時 8月24日(水)
13:30～15:30
場所 富岡公民館
参加費 100円
※和菓子と抹茶付き
※申込不要

※ボランティアを募集しています！
富岡公民館 ☎22-11028